

経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）は2019年度から20年度にかけて、全国の中小企業を対象に、地域で活躍している情報処理安全確保支援士などのセキュリティの専門家を1社当たり4回派遣し、リスクの洗い出し、セキュリティ基本方針の策定、関連規定や手順書の策定までを指導する「情報セキュリティ

ティマネジメント指導業務」を実施した。同事業を通じて、中小企業においてセキュリティ対策に係る人的・資金的なリソース不足という課題が明らかになるとともに、指

導要領（指導ツール）の有効性などを確認することができた。また、顧客データが蓄積され、顧客が蓄積されていく中で、セキュリティ対策強化の必要

性を感じており指導を受けたいと考えている。また、紙の利用に関する廃棄

の情報をセキュリティの教育を強化することができた。

業態により課題は異なるが、自社の取り組みの参考になる点は多い。IPAのウェブサイトに公開されているので、指導要領（指導ツール）と併せて活用してほしい。

事例①
新潟県・小売業

コーヒーマシンの加工販売の業務利用について、現場目線で取り組めるセキュリティ対策

利用ルールが未整備だったので、整備を進めるセキュリティ対策を検討し、IPAが提供

するひな形をベースとした「情報セキュリティハンドブック」を

作成した。例えば、裏紙の利用に関する廃棄

の情報をセキュリティの教育を強化することができた。

業態により課題は異なるが、自社の取り組みの参考になる点は多い。IPAのウェブサイトに公開されているので、指導要領（指導ツール）と併せて活用してほしい。

事例②
広島県・製造業

金属材料の熱処理の難易度の観点で重み付けを行い、実行計画の優先順位を決めた。

今回の指導を受けた、懸念事項であった、各工場

で働く従業員への情報セキュリティ対策状況の問い合わせを受けていた教育を強化することができた。

業態により課題は異なるが、自社の取り組みの参考になる点は多い。IPAのウェブサイトに公開されているので、指導要領（指導ツール）と併せて活用してほしい。

業態により課題は異なるが、自社の取り組みの参考になる点は多い。IPAのウェブサイトに公開されているので、指導要領（指導ツール）と併せて活用してほしい。

業態により課題は異なるが、自社の取り組みの参考になる点は多い。IPAのウェブサイトに公開されているので、指導要領（指導ツール）と併せて活用してほしい。

指導事例の活用を

小企業の参考になる取り組みをまとめた「セキュリティマネジメント指導事例集」を作成

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で対策状況を診断

経営者自ら4半期に1回はレビューを行い、従業員への着実な啓発活動などを実施している

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で対策状況を診断

経営者自ら4半期に1回はレビューを行い、従業員への着実な啓発活動などを実施している

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」で対策状況を診断

経営者自ら4半期に1回はレビューを行い、従業員への着実な啓発活動などを実施している

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

中小企業の セキュリティ対策

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

事例集では、指導を受けた中小企業の情報セキュリティ上で感じていた課題や、解決のために取り組んだ内容、工夫した点、使用したツールなどが掲載されている。ここでは

新潟県 事例No.1

業種	卸売・小売業
従業員数	51~100人
売上高	5千万円以下
推進担当者	佐藤 優樹（佐藤物産）
指導専門家	浜内 正一郎（情報処理安全確保支援士、ITコーディネータ）

■企業・団体紹介
コーヒーマシンの加工販売を基軸として、新潟を拠点に食文化の発展のための新しい価値創造と情報発信を行っている。直営店ではカフェとしての営業のほか、コーヒーマシンの販売、パーツ等を取り扱う、オンラインストア（EC）が全国に向けて販売を行っている。

■参加の動機
事業の生産性を高めるため、オンラインストアの構築や受発注業務の電子化等、経営者としてDX*を強力に推進してきたが、情報セキュリティ対策がなかなか不安があった。デジタル化された顧客データが蓄積されている中で、社内からセキュリティ対策強化の必要性の声があがりはじめていた。本事業が行われることを知って申し込んだ。

*DX（デジタルトランスフォーメーション）はITの活用を通じて、ビジネスモデルの刷新を図り、競争上の優位性を確保すること。

■情報セキュリティ上で感じていた課題
DX推進において、これまでシステムやデバイス導入を優先してきた。今後は、導入したITを活用する上でセキュリティ対策強化が必要がある。
BYOD**の取組みも導入していたが、社員のセキュリティ意識にも個人差があるため、教育等の対策も必要ではないかと感じていた。

*BYOD（Bring Your Own Device）の略。個人のスマートフォンなどを使用して業務を行うことで、クラウド導入準備やコスト削減の効果が期待できる。

専門家指導のポイント

■「チョコッとプラスパスワード」を利用した改善
自社診断の結果から、社員にパスワードに関する認識が不足していることがわかった。会社として導入したクラウドサービスのID/パスワードの管理はできていたが、それ以外のITサービスについては個人任せとなっているため対策が不十分。改善を促すため、IPAサイトに掲載されている「チョコッとプラスパスワード」を利用し、社員に対して業務上で使用するパスワード設定を安全に運用するよう周知を行った。

■業務で活用するIT機器の取扱いルールを整備
業務で活用するIT全般（無線LAN、パソコン、タブレットなど）について、利用ルールが未整備になっていた。BYODを導入されているが、業務に利用している個人所有デバイスの条件や、社員のBYOD継続時の注意を、会社で貸与した機器の取扱いルールなどと、網羅的に整備することができた。

■専任の指導を受けた、IT・セキュリティ担当者を配置することにした。策定したルールの遵守についての実行面も担ってもらう。半年から1年以内はかかると思うが、経営者として自らも4半期に1回はレビューを行い、社員への着実な啓発活動等を実施していきたいと考えている。

■セキュリティを強化することで、業務の生産性向上なる可能性があるのではないかと考えていたが、指導を受けた、パスワードが重要であることわり、両立するためのノウハウを得ることができた。

■ご意見・ご感想
問題の可視化と整理が非常に役立った。指導専門家の方は、情報処理安全確保支援士に加え、ITコーディネータとしての知識も保有されているため、今後もITの活用や情報セキュリティに関して継続した支援を依頼したい。

指導先企業からのコメント

■専門家指導の成果
今回の指導を受けた、懸念事項であった、各工場
で働く従業員への情報セキュリティ対策状況の問い合わせを受けていた教育を強化することができた。

■指導先企業からのコメント
今回の指導を受けた、懸念事項であった、各工場
で働く従業員への情報セキュリティ対策状況の問い合わせを受けていた教育を強化することができた。

